



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

手づくりで「お手玉会たより」126号を発行

「むかしなつかしお手玉会」代表の中村信子さん

山口市の中村信子さんが代表を務める「むかしなつかしお手玉会」が、毎月発行している『むかしなつかしお手玉会だより』の平成27年6月号(126号)が、このほど発行されました。

この「たより」は、B4版1頁もので、カラー写真やイラストを多く使った、手書きでカラフルな、温かみのある新聞です。

今回のニュースは、平成27年度ニッセイ財団の「生き生きシニア活動顕彰」に、同お手玉会が選ばれたことを、トップ記事で取り上げています。

そのほか、柳井市のルンビニオン保育園での親ごさんへのお手玉伝承講座や、講座の感想文の紹介。第28回全国健康福祉祭やまぐち大会に参加し、舞台でお手玉を発表した様子。などが紹介されています。

また、お手玉会を支えてきた桑原方子さんが、88歳を前にして亡くなられ、遺作となったお手玉500個が娘さんから会に届けられたこと。このお手玉を、8月に山口で開催されるボーイスカウト世界ジャンボリーで、外国から参加する子どもたちにプレゼントするという、温かいニュースもあります。

会の代表を務める中村信子さんは、平成17年の第13回全国お手玉遊び神戸大会に参加した際、お手玉3段に合格しました。その認定証に書かれた「伝承文化の継承者としてお手玉を伝承して下さい」との言葉に刺激され、「むかしなつかしお手玉会」を立ち上げました。

その後は、0歳から高齢者までを対象にお手玉遊びの普及に努め、毎月、会報を発行するなど、お手玉の普及活動をつづけています。

平成21年には、高齢者の豊かな経験や発想を社会に反映させようと活動しているNPO法人サンシティ宮崎主催の「第4回シニアの主張全国大会」で、中村さんの作品「タンスにあった数珠玉」が、最優秀賞に選ばれました。

「亡くなった母親のタンスで見つけた数珠玉が、『お手玉を今の人に伝えていくんだよ』と言っているように聞こえた…」という内容とのことです。

いま、中村さんは、この会を日本のお手玉の会の支部にしようと、準備をすすめています。

■ むかしなつかしお手玉会だより (126号目の発行)
イラストを多く使ってカラフルで温かみのある、手書きの「会報紙」です。

